

R7年 6月 23日

2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人なごやかサポートみらい

ホーム名.....自立援助ホームBegin

代表者・役職名 氏名.....ホーム長 清水郁子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

入居者の移動支援に必要な車両購入事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2016 年自立援助ホームいっぽが愛知県春日井市で設立され、運営する中、児相からの子どもの入所打診に応えきれない背景から、2023 年 8 月に自立援助ホームBeginを立ち上げることとなりました。男子 6 名が入居するホームです。R7年 4 月現在 5 名の入居者が毎日生活しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子ども達との生活の中で、車の必要性を強く感じていました。入居者のほとんどが高校生で、日常的に自転車を使いますが、トラブルも多く、迎えに行く、修理が必要な場面も多く、自転車を積むことのできる車は欠かすことのできない物です。また、入居者全員を乗せての交流会もでき、ホームとして温かい関りをする事ができています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子ども達の多様な体験を可能にする自動車の購入により、入居者全員が楽しめる企画を立て実行することが出来ます。企画やイベントだけでなく、毎日の日常生活でも、子ども達と自動車を使つての行動を共にすることで多くの体験を共有することが、スタッフと子ども達の関係性を築く事に役立ちます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

毎月の子ども会議の中でイベントプランを考え、実行することを目標の一つとして掲げ、新しい入居者の歓迎会やイベント等に車を利用しました。また、日常生活の中でも、自動車を使つて一緒に行動する中で、スタッフと子ども達との関係性がより深く築けたのではないかと考えています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

入居者の入退去時、荷物の運べる車の存在は大変重宝しました。スタッフに女性が多く、長距離運転が心配されるのですが、今後、イベントなどで長距離移動も車でできる様な体制を整えなければと思っています。人手不足の昨今ですが、それができる様な人員配置が急務だと考えています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

・農業体験への参加



・自転車修理積み込み



・歓迎会

